

ウイルスや細菌から教習生を守る 二酸化チタンコーティング

無色無臭！人にも無害安全です。施行前の準備も不要。コーティングにはマスクや手袋も不要なんです！



今回、お世話になった販売・施行の業者さま。ありがとうございました！



大勝建設株式会社

株式会社イオテックジャパン

光があたればウイルスや細菌を分解する技術

About

光触媒2.0 イオニアミストプロについて

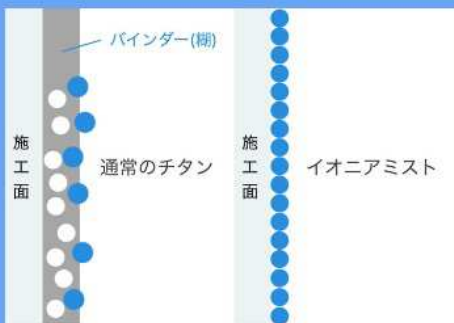
常識をくつがえす「光触媒2.0」

それがプロ仕様のイオニア

電源を使うことなく空気を清浄する技術を今度は「吹き付ける」タイプで実用化しました。「コーティングの常識を変える」新製品。バインダー不要そして吹き付けるだけで施工面がコーティングされ、防汚・防曇・ガス分解・抗菌・水浄化など、様々な効果を長期間にわたって得ることができます。



「高性能」の理由



革新のカギ それは チタン粒子の"自己結着"

イオニアミストプロの最大の特徴は、「粒子が自己決着する」ことです。特殊な製造技術によりチタン粒子を微粒子化することで、施工面の粒子の表面積が圧倒的に増大しました。これにより、【バインダー不要】【わずかな光でも反応が起こる】といった性能を実現しました。

吹き付けるだけで、全面コーティングすることが可能です。

今までになかった エビデンス 圧倒的な 証明

施工が難しいとされるガラスなどの表面。イオニアミストプロはガラスにも自己結着し、持続コートすることが可能です。

大学機関協力の元行われた実証試験により、チタン粒子がガラスに結着して剥がれない、という評価も取得しています。つまり、吹き付けるだけで様々な建材に結着して、持続的に効果を発揮し続けます。



バインダーが不要

前処理もなしでガラスに結着

それが“次世代”を名乗る条件でした

コーティングにおいて最も難しいと言われているガラスへの結着。光触媒の性能を示す大きな特徴であるこの要素について、イオニアミストは正々堂々と実証実験を行い、確かなエビデンスを得ています。前処理もいらず、プライマーもいらず、バインダーさえも不要という理想の実現こそ、イオニアミストが次世代の光触媒「2.0」と呼ばれる理由です。

比べればわかる 圧倒的な違い

従来のチタン粒子は自己結着することができないため、光触媒コーティングにはバインダー（接着剤）が必須でした。

しかし、この工法だと、チタン粒子が接着剤の中に埋もれてしまうため、カタログデータと同じような効果を得ることができません。

そうした、従来の光触媒施工が抱えていた矛盾点を100%解消したのが、「光触媒2.0」イオニアミストです。一切バインダーを必要としない施工のため、施工表面を確実にチタン粒子で覆い尽くすことができ、従来言われていた理論値通りの光触媒の性能を現場で発揮することが可能になりました。

これまでの光触媒

01 バインダーが必要

02 効果を発揮する粒子は一部

03 反応に強い光が必要

測定の結果は 想像以上でした

測定器(ルミテスター-smart)で身の回りの状態を実証実験しました。

測定器について

ATP+ADP+AMPふき取り検査(A3法)を高精度で実施できる測定器
病院や、食品工場などの施設においてウイルス・菌類の元がどのくらい残留しているか(どのくらい汚れているか)を接触試験で測定・数値化することが可能。
ルミテスターは測定精度が高く、保健衛生局などでも公的な証明として採用されています。

検証方法

- 1 専用の綿棒上のキットで測定箇所を拭き取り、試薬につける
- 2 ルミテスター-smartにキットを挿入
- 3 10秒でウイルスや菌の元となる有機物(3A)の残留数値が測定器に表示される



ルミテスター-smart(キッコマン) ATP+ADP+AMPふき取り検査(A3法)

数字が語る

イオニアミストの力

次々に寄せられる 驚くべき試験結果

イオニアミストのここがすごい

高性能すぎて試験が不成立！？

一般的に、抗ウイルス性試験においては、非常に微細な細胞にウイルスを感染させて培養します。ところが、イオニアミストプロはその分解力の高さから培地になる細胞まで最終的に分解してしまったため、試験としては不成立というケースが見られました。

※人体への影響はありません。ご安心ください。

抗ウイルス性試験

A型インフルエンザウイルス



[試験方法]JIS L 1922:2016(JSO 18184:2014、準用)、準用
[ウイルス力価の定量方法]ブランク法
[試験で使ったウイルスの種類(宿主細胞)]
A型インフルエンザウイルス(H3N2)ATCC VR-1679(MDCK細胞
ATCC CCL-34]

実験結果を見る

抗ウイルス性試験

ネコカリシウイルス
(ノロウイルスの代替)



[試験方法]JIS L 1922:2016(JSO 18184:2014、準用)、準用
[ウイルス力価の定量方法]ブランク法
[試験で使ったウイルスの種類(宿主細胞)]
ネコカリシウイルス(F-9)ATCC VR-782(CRFK細胞 ATCC CCL-94]

実験結果を見る

ガス除去性能評価試験

アンモニアガス



[試験方法]SEKマーク機織製品認証基準で定める方法((一社)機織評
価技術協議会)ただし、試料量は200cm²とした。
[仕様(バッグの種類)]スマート/バックPA(シーエルサイエンス社製)
[試験で使ったガスの種類]アンモニアガス

実験結果を見る